

《巻頭特集》東北への教育旅行誘致に向けた取組み

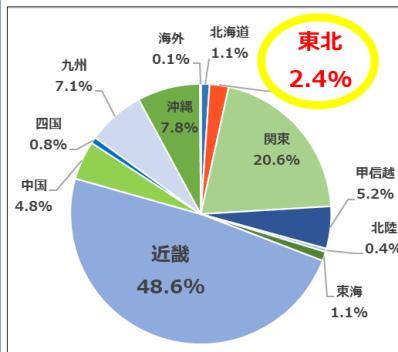
東観推では、『「こころ」と「いのち」の東北まなび旅』をキャッチフレーズに、東北ならではの深い学びや、東北だから体験できるコンテンツを発信し、国内外の教育旅行団体を東北へ誘致する取組みを推進しています。



◆近年の教育旅行市場の動向（公立中学校）

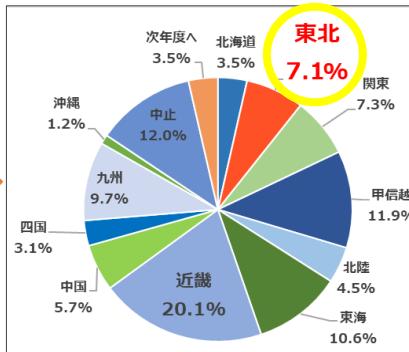
データ出典元：
(公財)全国修学旅行研究協会 発行「コロナ禍と修学旅行」

【2019年度（コロナ前）】

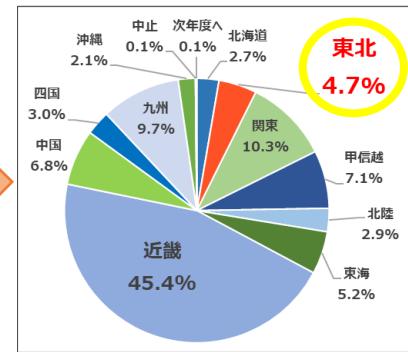


コロナによりほとんどの学校が中止

【2021年度（コロナ2年目）】



【2022年度（コロナ3年目）】



コロナの影響で2020年度はほとんどの学校が修学旅行を中止せざるを得ませんでしたが、2021年度以降は都市部を回避し、感染者数が少ない方面に行先を変更する傾向となり、東北を訪問する学校が増加しました。2022年度以降は減少傾向にあるものの、コロナ前以上の学校が引き続き東北を訪れており、東北教育旅行に魅力を感じ、コロナが落ち着いても継続して来訪していることが伺えます。

一方で、コロナ前の方面に戻した学校もあり、東北教育旅行の魅力のさらなる訴求が重要となっています。

◆東観推の取組み①

東観推では、東北6県と新潟県に加え、交通や宿泊、観光施設などの教育旅行受入事業者と連携し、官民一体となった誘致活動を進めています。

☆教育旅行誘致部会の開催

教育旅行の東北地域への誘致促進と、観光関連産業の振興、東北産業経済の発展への寄与を目的とした「教育旅行誘致部会」を年2回程度開催しています。関係機関と情報共有を行い、広域の官民連携を強化しています。



教育旅行誘致部会の開催

☆セミナー・商談会の開催

さらなる需要が見込まれる重点市場（札幌、東京、大阪、名古屋、福岡）にて、学校関係者と旅行会社に向けた東北教育旅行セミナー・旅行会社商談会・学校相談会を実施。東北教育旅行の魅力や学びの効果等を発信しています。本年度は初めて台湾でも教育旅行セミナーを予定しており（12月6日）、海外からの訪日教育旅行誘致にも注力してまいります。



東北教育旅行セミナー

☆現地研修会の実施

教育旅行の計画・実施に向けて、学校関係者や旅行会社の方々を招請して東北の魅力を実際に体験いただく現地研修会を実施しています。

「教育旅行の訪問先として選ばれる東北」を目指して、
昨年7月に発足した「東北復興ツーリズム推進ネットワーク」と連携した現地研修会（JR東日本共催）も
2025年1月～2月に予定しています。



希望と学びを未来へ。



現地研修会

◆東観推の取組み ②

☆WEBによる情報発信

東北6県・新潟県には、震災・減災・防災、歴史・文化、自然、農村・漁村、スキー等、教育旅行に最適なコンテンツが豊富に揃っています。東観推の教育旅行専用HP「東北まなび旅」では、旅行会社や学校関係者にニーズが高い「モデルコース」や「体験学習コンテンツ」など、様々な情報を発信しています。各県の教育旅行パンフレットや助成金の案内なども掲載しており、東北の教育旅行情報が満載のポータルサイトです。

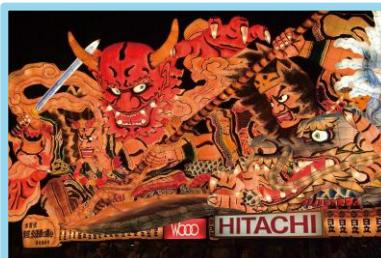


東北まなび旅
二次元コード

モデルコース…167件掲載！2～3県を周遊するコース、1県を深堀りする単県コースなど、様々なコースを紹介しています。パワーポイント形式でダウンロードし編集できる機能もあり、「企画書にすぐ使える」と好評です。

体験学習コンテンツ…613件掲載！「地域の文化・歴史を知る」「そこに暮らす人々と会話する」「自然に触れる」体験コンテンツが揃っています。生徒自ら課題を発見し、解決に向けて主体的・協働的に学ぶ体験は、「生きる力」を育みます。

《教育旅行コンテンツの一例》



青森県【ねぶた・ねぷた】

ねぶた・ねぷたを体験し、風土に根ざした地域文化への関心と理解を高めます。



秋田県【あきた芸術村（わらび座）】

創作踊り体験にクラス全員で取り組み、チームビルディングを高めます。



岩手県【田者地区の「学ぶ防災」】

被災地で学んだ「防災探究学習」の成果から自分の地域の防災・減災のあり方を考えます。



山形県【農村生活・民泊体験】

地域の人々とふれあいながら、農業や農山村の生活習慣や生きる知恵を学びます。



宮城県【仙台うみの杜水族館】

自然環境の改善を目標とした、様々なSDGs活動を行っており、取組みから得た知見を学びます。



新潟県【史跡佐渡金山】

400年の歴史を有する佐渡金山が育んだ暮らしや文化を学べます。世界文化遺産にも登録されました。



福島県【ホープツーリズム】

世界で類を見ない複合災害の事実、教訓、復興への挑戦から得た学びをもとに、持続可能な社会・地域づくりを探究します。

今後も引き続き、関係機関との連携を深め、各地でのセミナーや現地研修会、情報発信を通して教育旅行の東北への誘致を推進してまいります。



訪日外国人向けの便利なバス乗車券 「TOHOKU HIGHWAY BUS TICKET」発売中！

東北のバス事業者17社および東観推が加盟する高速バス東北共通インバウンドフリーパス協議会では、訪日外国人を対象に東北域内の高速バスと一部の一般路線バスがチケット有効期間中、乗り放題となる企画乗車券「TOHOKU HIGHWAY BUS TICKET」（以下、「THBT」）を販売しております。

2024年10月より完全デジタルチケットとなった新「THBT」は、購入から1か月の期間中、任意の2日間または3日間有効となるチケットを選択購入し、ご利用いただけます。従来の紙媒体の「THBT」とは異なり、利用日が連続している必要がないことも大きな変更点で、これまで以上に自由度の高い東北旅行のスケジュールを組むことができるようになりました。訪日外国人旅行者の東北における交通利便性の向上と周遊の促進により、一層の交流人口の拡大を図ってまいります。詳しくは以下のURLからご確認ください。

TOHOKU HIGHWAY BUS TICKET 概要

◆販売価格

適用範囲	券種	販売額
南東北3県 (宮城・山形・福島)	2日間券	7,000円
	3日間券	9,000円
北東北3県+宮城県 (青森・秋田・岩手・宮城)	2日間券	9,000円
	3日間券	11,000円
東北6県	2日間券	11,000円
	3日間券	14,000円

※購入から1か月間有効、使用日の非連続（飛び石）利用可

◆販売対象

訪日外国人旅行者（日本国外の国のパスポートをお持ちの方）

◆対象路線

東北6県内を運行する高速バスおよび一部の一般路線バス（約80路線）

◆購入方法はJBLサイトでオンライン決済となります



THBT英語版チラシ（イメージ）



【英語版】



【繁体字版】



【韓国語版】



【詳細はこちら】

英語版URL : <https://japanbuslines.com/en/thbt/>

繁体字版URL : <https://japanbuslines.com/tw/thbt/>

韓国語版URL : <https://japanbuslines.com/ko/thbt/>

TOHOKU Fan Clubをマーケティングにご利用ください！

会員数3万人を超える TOHOKU Fan Clubを地域の情報発信やマーケティング調査に活用してみませんか？

TOHOKU Fan Clubでは、国内はもとより海外のファンも3千人を超える多くのファンに東北の魅力を発信しています。

特にファンの声を直接吸い上げるアンケート調査機能は、地域や企業さまの強力なマーケティングツールとしてご活用いただけます。3万人を擁するTOHOKU Fan Clubをぜひ、ご活用ください。



	① 投稿	おすすめ！	② アンケート	③ オファー
区分	ファンへの情報発信 (≡Facebook)		ファンが回答するもの	ファンが申し込むもの または、ファン限定の情報
活用例	おすすめ情報、お得な情報 (例) お祭り・イベント開催予告 新規観光施設のオープン 桜・紅葉の見ごろ情報 等		ファンに聞きたい内容 (例) コンテンツ造成前のテストマーケティング・ 認知度調査 等	ファンへの参加や購入の呼びかけ (例) モニターツアー参加者募集 セミナー参加者募集 ファン限定プラン販売 等
利用料	<会員特典> 正会員：3回まで無料 賛助会員：1回まで無料	10問まで	15万円 + ポイント原資	<会員特典> 正会員：3回まで無料 賛助会員：1回まで無料
		30問まで	35万円 + ポイント原資	

※アンケート調査利用促進キャンペーン中（年度末まで）！調査費用・設問数などぜひご相談ください。
詳細は、東北ブランド戦略部までお問い合わせください。

【お問い合わせ】東北ブランド戦略部 brand@tohokutourism.jp

10月活動一覧

◆アドベンチャートラベルワールドサミット (ATWS) 2024パナマに参加しました

アドベンチャートラベルに関する世界最大の団体であるATTA(Adventure Travel Trade Association)が主催するアドベンチャートラベルワールドサミット(ATWS)に東北のアドベンチャートラベルコンテンツの訴求、世界のAT関連事業者等とのネットワーク構築を目的に東観推の渡辺推進本部長がDEGAM鶴岡ツーリズムビューローの皆さんと共に参加しました。

昨年は日本で初めて北海道で行われた本イベントですが、今年は10/7~10日に中米パナマの地で開催され、JNTOが企画したジャパンラウンジに沖縄、九州、四国等の皆さんとの参加となりました。

世界中のアドベンチャートラベル関連の旅行会社、コンテンツ事業者及びメディア関係者が約800名集まり、4日間にわたり、商談会、セミナー、ネットワーキングイベント等大変充実したイベントでした。

商談会では北米、欧州の旅行会社17社と商談をし、出羽三山の修験道トレイルはじめ、東北のコンテンツを紹介し、大変関心をもっていただきました。

また、全体のクロージングイベントではJNTO、沖縄の皆さんとステージに登壇し、来年アドベンチャーウィークが開催される東北の魅力をPRしました。

来年秋には、ATTAとJNTOが主催し、有力な旅行会社、メディアを1週間にわたり招請するアドベンチャーウィークが東北で開催することが決まりました。東観推では引き続き、地域のDMO、コンテンツ事業者、ガイドの皆さんと共に受入環境整備、コンテンツの創出、広域でのストーリー化等東北におけるアドベンチャートラベルの更なる進化に向け取組んでまいります。



【ジャパンラウンジの様子】



【商談会の様子】



【クロージングイベントの様子】

10月活動一覧

◆招請事業

・10/20～10/24 韓国市場旅行会社招請

韓国から旅行会社2社2名を招請し「アウトドアアクティビティ+食事・文化体験」をテーマに、宮城県・秋田県・山形県を視察しました。

アクティビティでは秋田県の「抱返り渓谷」が好評で、トレッキングやハイキング初心者でも楽しめるコース上に、渓谷を見渡す吊り橋や手彫りの洞窟、透明度の高い川や「回顧の滝」など美しい景色が見られる点を高く評価していただきました。

食事は、東北エリアの充実した食材と日本酒・ワインのペアリングを体験していただきました。「お酒が好きな韓国人の嗜好に合う」と大変満足され、十分に旅行の目的になると仰っていただきました。

また、歴史ある温泉文化が根付いた宮城県の「鎌先温泉 最上屋旅館」や、山形県にあるスタイリッシュな「ホテルスイデンテラス」にご宿泊いただき、東北の宿泊施設はバリエーション豊かであることを体験していただきました。

引き続き、情報発信や旅行商品の造成に向けた働きかけを行い、韓国での訪日プロモーションを一層推進してまいります。



【抱返り渓谷】



【ホテルスイデンテラス】

◆高価付加価値コンテンツ

・10/10、10/21～22 旅行会社を招請したモニターツアーの実施

高価付加価値コンテンツを用いて設定する旅行商品のモニターツアーを、海外に販路を持つ旅行会社を招請して実施しました。

10日に秋田県大仙市で行った「大曲花火師体験とプライベート花火鑑賞（花火工場見学・模擬玉づくり）」のモニターツアーでは、花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」で花火づくりの歴史や製造工程の説明を受けた後、「小松煙火工業」にて花火玉が作られる工場の見学と模擬玉づくりを体験。最後にフォレストリゾート山の手ホテルで「プライベート花火」を鑑賞しました。日本を代表する花火大会が行われる大仙市大曲で「花火」を深掘りする内容に高い評価をいただいた一方、「花火玉製造工程の説明は専門用語が多く通訳が難しい」といった課題もご指摘いただきました。

21～22日には新潟県佐渡市で「佐渡金山で栄えた京町通り古民家レストランで文弥人形芝居鑑賞と佐渡フレンチ・北沢浮遊選鉱場ライトアップ見学」のモニターツアーを行い、佐渡金山や北沢浮遊選鉱場を見学したあと、

「古民家空間 京町亭」で佐渡産食材を使ったフレンチフルコースと文弥人形芝居鑑賞を体験していただきました。モニターツアーは11～12月に、岩手県、宮城県、福島県でも行います。モニターの皆さんにご指摘いただいた課題点も踏まえながら、満足度の高いコンテンツになるよう一層の磨き上げを図ってまいります。



【はなび・アム視察の様子】



【文弥人形芝居劇鑑賞】

◆教育旅行

・10/2 東北教育旅行セミナー名古屋会場

名古屋マリオットアソシアホテルにて「東北教育旅行セミナー」を開催し、中部圏の旅行会社や東北側の教育旅行受入事業者、自治体関係者ら約60名の皆さんにご参加いただきました。

第1部では東観推や東北6県、新潟県より東北教育旅行の魅力をプレゼンテーションし、JR東日本からは「東北復興ツーリズム推進ネットワーク」の取組みや学校向け割引運賃の紹介をしていただきました。第2部の商談会は活気があふれ、参加者からは「各プログラムが魅力的だった」「東北を紹介したいがアクセスに課題あり」など率直な感想が寄せられました。移動距離の課題払拭に向け、周遊観光の提案にいっそう注力してまいります。



【商談会の様子】

10月活動一覧

◆会議

・10/17 訪日プロモーション担当会議

東北6県・新潟県・仙台市の訪日旅行担当者と「第4回訪日プロモーション担当会議」を開催しました。「2025年度訪日プロモーション事業戦略」について、冬ダイヤで増便が予定されている香港と就航意欲の高いタイについて前回(9/6)からの変更点、強化ポイントを説明し、連携事業に係る予算について意見交換を行いました。また、今後大幅増便をする仙台=香港をはじめ、域内空港の路線を維持していくため、「東北・新潟一体となって取組んでいくことが重要である」との認識を共有し、一層の連携を確認しました。各自治体との意見交換をふまえ、有効な施策となるよう更に磨き上げ、外国人観光客の東北・新潟への誘客強化に努めてまいります。

今年度も後半となりました。計画した事業を着実に遂行させ、多くのお客さまを東北にお迎えしたいと思います。次回の担当者会議は年明け1月の開催を予定しております。

・10/21 2024年度第2回行政観光戦略会議

東北6県、新潟県、仙台市の観光担当課長、他の皆さんと「2024年度上期事業報告および下期事業」「2025年度事業計画(案)」「2025年大阪・関西万博への対応について」などについて、報告・意見交換を行いました。

インバウンドの復活により、第5期中期計画で定めた外国人宿泊者数の2019年実績値の回復を年内で達成見込みとなりました。グリーンシーズンの魅力向上による年間需要の平準化などの諸課題解決に向けて、オール東北での取り組みを強化してまいります。各自治体の観光振興策などについて、意見交換が行われました。

・10/24 第17回東北観光戦略会議

経済団体、企業の実務責任者、東北6県、新潟県及び仙台市の観光協会、連盟の代表の方々と、「2024年度上期事業報告および下期事業」「2025年度事業計画(案)」「2025年大阪・関西万博への対応について」などについて、報告・意見交換を行いました。

議事では、来年度事業計画についての意見・質問のほか、インバウンドの需要増に伴う観光人材の人手不足の問題など、出席団体・地域の課題や取組みなどについて、報告がありました。



【オンライン会議の様子】



【会議の様子】



【会議の様子】

◆人材育成

・10/18第九期 フェニックス塾 第4回(新潟)を開催

今回の第4回を新潟ガレッソホールで開催し、41名の皆さまが参加しました。第一部セミナーでは、講師の日本政府観光局(JNTO)出口まきゆ理事より「インバウンドにおける最新動向と今後のインバウンド施策」をテーマにインバウンドをめぐる最近の動向、地方誘客の促進に向けて、戦略的なプロモーションにむけた取組みについての貴重なお話をいただきました。第二部ワークショップでは「東北(TOHOKU)を世界から選ばれる持続可能な観光地にするには」を軸に、最終発表へ向け、各グループのテーマに沿った「現状把握と課題の洗い出し」について活発に意見が交わされました。



【第一部セミナーの様子】



【第二部ワークショップの様子】

東北観光推進機構からのお知らせ

●以下のHP・SNSなどで情報提供を行っています。

	【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/	
	【Facebook (Tohoku Tourism) 英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook (Tohoku for Muslims) ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook (旅東北 東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Facebook (Go Tohoku Thailand) タイ語版】 https://www.facebook.com/tohokufuntrip	
	【Instagram (tohokutourism) 英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja	
	【Instagram (東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_tc/?hl=ja	
	【Instagram (【公式】東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	
	【Weibo (日本東北玩樂GO)】 https://weibo.com/lvdongbei	



【つばくろ谷（福島県）】



【黒川のイチョウ並木（秋田県）】



【漁師町・八戸の暮らしと美味をまるっと体験する1泊ツアー（青森県）】

◆Instagramにおける「#東北PR局」を付けた投稿のお願い◆

東北の観光に関する投稿の際には、ぜひ「#東北PR局」をつけてご投稿ください。「#東北PR局」をつけて投稿いただいたものの中から、素敵な投稿をリポストさせていただきます。（リポスト前にはメッセージで許諾を取らせていただきます）

リポストは東北観光推進機構のInstagramとFacebook（旅東北 東北観光推進機構）の両方で投稿します。

●フェニックスロゴマークをぜひご活用ください

国内外における訪日外国人旅行者誘致のイベント等で活用することを目的に、関係者が連携して、東北全体が共通してプロモーションに活用できる統一ロゴ・マークを作成し、幅広く活用いただいております。こちらからダウンロードいただけますので、ぜひ東北観光の認知度向上と海外への魅力発信にご活用ください。

<https://www.tohokukanko.jp/business/logo/index.html>

東北の太古の昔より生き続ける力強い生命力や震災を乗り越えて大きく飛躍するメッセージを伝える象徴として、フェニックス（不死鳥）をモチーフに使用。東北6県及び新潟県を象徴する自然等のイメージを関連づけ、フェニックスの尾を7色で表現しています。

赤一 祭り・紅葉 白一 雪・食（米・酒） 黄一 黄金（歴史）・稲穂 桃一 桜・おもてなし（ハート）

青一 海・森・湖 橙一 温泉・花・夕日 緑一 新緑・田園



【発行】（一社）東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階 【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp
【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293

